

令和4年度第3回平館高等学校学校運営協議会議事録

記録：副校長

日時：令和5年2月21日（火）13：20～13：55

場所：大会議室

出席者：北島亨校長

学校運営協議会委員7名

（田中耕一会長、寺澤幸昌氏、佐藤晃氏、遠藤収一氏、高宮征宏氏、畠山幸清氏、吉田裕香氏）

事務局2名（石川千枝教諭、副校長後藤知恵）

次 第

1 開会のことば（後藤）

2 会長あいさつ

コロナもだいぶ収束が見えてきました。これからまた様々な行事ができるようになると思いますので、活発に頑張ってもらいたいと思います。最近、バツケ（フキノトウ）も芽を出して食べたりしています。高松の池の辺りでは、福寿草が咲いているという話です。春の到来を感じています。間もなく卒業式ですが、生徒全員が卒業できるということでよかったです。私の時代には、1人2人式に参加できない生徒がいました。1週間後に2人だけで卒業式というのもありました。そして、北島校長先生も卒業されるということで、嬉しいような、残念なような感じでした。校長先生には、平館高校のために本当に一生懸命頑張ってもらい、これからどんどん軌道に乗って良くなるというところで、次の方にといいことですが、副校長先生がその分を引き継ぐと言っていたので、私も頑張ろうと思います。これからも平館高校をよろしく願います。今日は、短い時間ですが、よろしく願います。

3 校長あいさつ

日頃からお世話になり、ありがとうございます。今3年生の話がありましたけれども、51名みんな卒業という形になりました。あと3名が進学関係で決まっていますが、盛岡大学合格の報告もありました。25日に国立の受験もあります。3名がまだはっきりはしていませんが、いい方向に向いております。就職は、本当におかげ様で、100パーセントということで、今の三年生は去年の今頃の時期から比べると本当に成長して、いい卒業式を迎えられるなどと思っています。今日は2年生が中心になって、この後発表会があります。3年生は、昨日市役所の方に参りまして、議員さんや教育長さん、八幡平市役所の方々に、総合的な探究の時間で取り組んだ八幡平市についての研究の成果を報告してきました、大変好評でした。本来であれば、3月の議会に参加するという流れだったのですが、それは今の2年生に引き継ぎます。地域連携それから魅力発信が形になってきて、我々大人が思っている以上に子供たちが本当に頑張っています。来年度75周年になりますが、更にこれからCSの皆様、それから地域の皆様、様々な先輩たちの連携で盛り上がっていく魅力的な学校を作ってまいりたいと思います。本日は、学校評価の件や様々な議題がございますけれども、また来年度に向けてアドバイスをいただければと思います。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

4 協議（議事進行：田中会長）

（1）令和4年度学校評価集計の点検・評価…副校長より資料に沿って報告

・部活動に関する評価が80%を割っている件についての感想意見

佐藤氏：コロナ禍で不完全燃焼だったことも原因ではないか。

畠山氏：部員の数が少ないと良い成績も取れず、試合などで萎縮してしまうのではないかと。高校生は、強くなってカッコいいところを見せたいという気持ちがあると思う。技術を磨いて強くなる指導も必要だと感じる。

- (2) 進路状況報告…副校長より資料に沿って報告
 ・進学希望3名未定。就職希望100%内定。
- (3) 次年度以降の魅力化・特色化を高める活動について
 ・中学生への魅力発信が課題。次年度以降も魅力発信が本校の受験者数につながるよう検討していかなければならない。
- (4) 令和5年度平館高等学校学校運営協議会委員について
 ・副校長より委員の継続についてお願いし、特に異議なし。
 ・委員の推薦は後日副校長まで。会長に相談しながら進める。
- (5) その他…委員から感想等
 ・高宮氏：今年度社会福祉協議会の事業で、福祉の授業に関わらせてもらった。生徒とコミュニケーションを取りながら一緒に考えることを通して、自分も勉強になることが多かった。福祉の分野でも社会資源づくりが課題となっており、次年度以降もまた生徒と一緒に福祉の授業に取り組んでいきたい。
 ・吉田氏：委員初年度で、勉強になった。次年度もよろしくお願ひしたい。地政学のような総合的な学びを取り入れていくようなカリキュラムの編成などを考えてみることもよいのではないかと感じているので提案していきたい。
 ・畠山氏：他校の学校運営協議会の視察も有意義ではないか。また、卒業したての方を委員にして意見を聞くのもいいのではないか。
 ・遠藤氏：商工会では青年部が積極的に平高に関わり、地域の担い手育成に取り組んでいる。次年度も継続したい。また、平高では今年ムラサキの種を植えたと聞いた。次年度ぜひ芽を出して、ムラサキの活動が学校のPRになればよい。
 ・佐藤氏：学校評価、「この学校に入って良かった」…78%（生徒）は、残念な結果だ。何が足りなかったのかというところを聞いてみたいと思った。進路のところでは、進学といっても専門学校が多いので、生徒はもっと専門的な（実業的な）学びを求めているのではないだろうかと考えた。就職希望も多いようなので、企業の方でも発信をしていかなければならないと感じている。
 ・寺澤氏：この一年間この会に参加して、委員の皆様の熱い意見を聞かせていただき、大変いい時間でした。中学校という立場ですので、卒業生の活躍（高校野球など）を一緒に応援している。今年は相撲をやる1年生が入学してきたので、大会に応援に行ったら、高校生の部もあり、平高を応援することができた。高校相撲は強さが際立っていて私も応援に力が入った。来年度も本校からの入学生も含め応援していきたい。
 ・田中氏：岩手日報で平高生の活躍を楽しみに見ている。これからも様々な活動を期待している。ぜひ平館のお祭りにも参加して地元を盛り上げて欲しい。高校生にはいろいろな体験・経験を積ませたい。一生の宝物になると思うので。

5 閉会のことば（後藤）

13:55～ 研修ホールへ移動

地熱学習（地域資源を活用した地域の魅力発信）成果発表会参観

- ①発表者 2年生（普通科・家政科学科）
 ②テーマ 「聞いて！食べて！地熱でつながる八幡平の魅力」